

## 2 平成28年中の救急業務状況

### (1) 救急業務状況

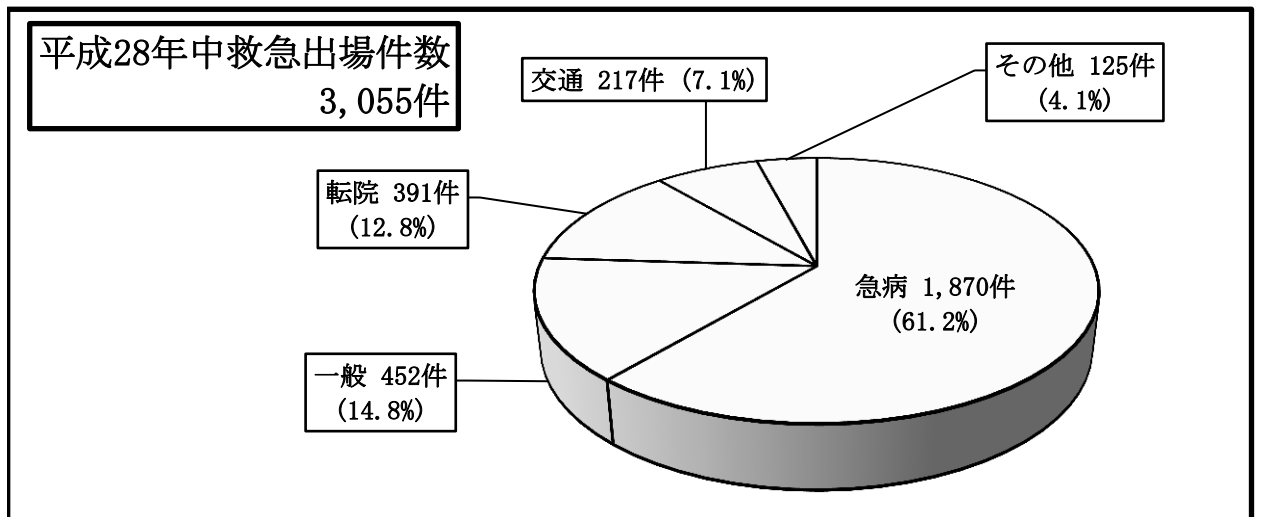
平成28年中における救急業務の実施状況をみると、救急出場件数が3,055件、搬送人員は2,873人で、前年と比較して出場件数が53件（1.8%）の増加、搬送人員が79人（2.8%）の増加となった。

1日平均の出場件数が8.4件となり、管内住民70,688人（平成28年4月1日現在）の約25人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

2-1表 事故種別救急出場状況

事故種別	区分	平成28年		平成27年		対前年比	
		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
急病		1,870	1,742	1,765	1,618	105	124
交通事故		217	205	261	261	△ 44	△ 56
一般負傷		452	434	420	386	32	48
労働災害		30	29	28	25	2	4
運動競技		43	42	27	27	16	15
自損行為		26	18	32	19	△ 6	△ 1
加害		6	4	10	8	△ 4	△ 4
水難事故		4	2	6	2	△ 2	
火災		4	4	4	3		1
自然災害							
その他	転院搬送	391	391	440	439	△ 49	△ 48
	医師搬送	3				3	
	機材搬送						
	その他	9	2	9	6		△ 4
	小計	403	393	449	445	△ 46	△ 52
合計		3,055	2,873	3,002	2,794	53	79

2-1図 平成28年中救急出場件数



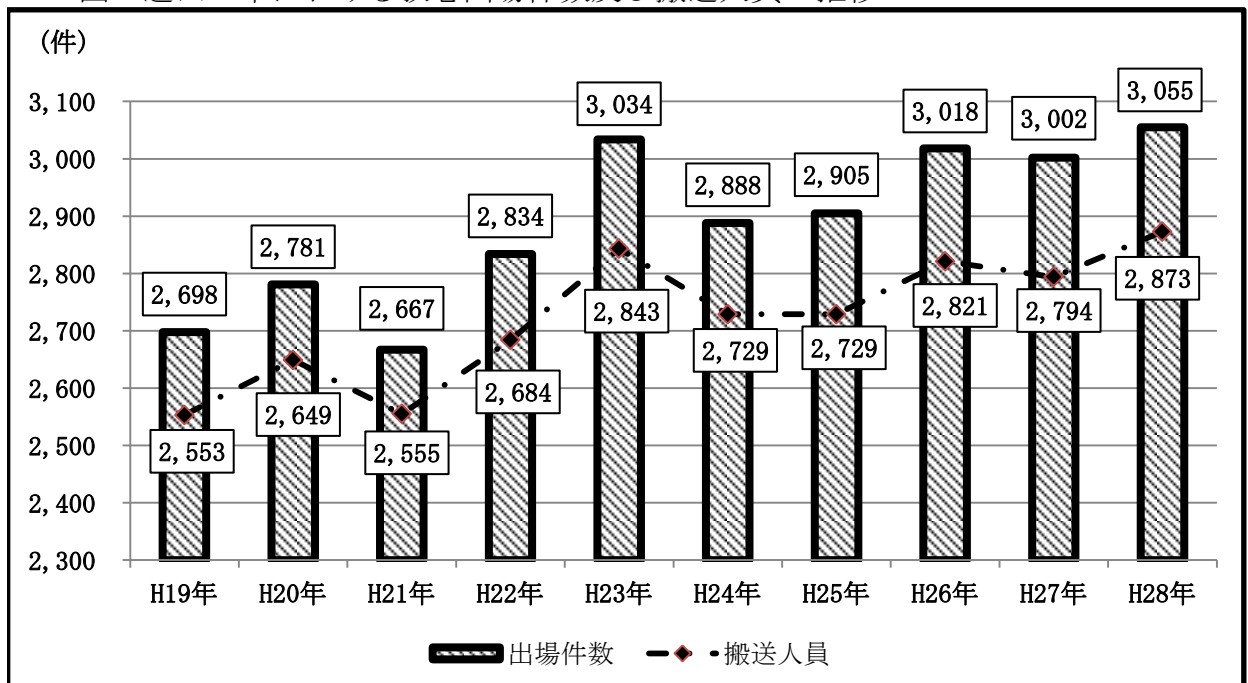
## (2) 救急出場件数及び搬送人員の推移

過去10年間における構成町別の救急出場件数及び搬送人員は、次の表のとおりとなっている。

2-2表 構成町別救急出場件数及び搬送人員の推移

		高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	管轄外	計	うち高速道路上
H	件数	937	650	192	737	538	1	3,055	(8)
28	人員	862	622	186	692	511	0	2,873	(6)
H	件数	912	660	198	700	527	5	3,002	(13)
27	人員	835	612	190	655	499	3	2,794	(12)
H	件数	929	629	192	736	528	4	3,018	(7)
26	人員	853	583	182	706	495	2	2,821	(4)
H	件数	934	583	197	695	493	3	2,905	(2)
25	人員	866	547	182	661	471	2	2,729	(2)
H	件数	980	575	143	682	507	1	2,888	(3)
24	人員	903	545	131	658	492	0	2,729	(2)
H	件数	1,000	609	175	742	507	1	3,034	(4)
23	人員	919	558	164	703	497	2	2,843	(5)
H	件数	922	550	189	702	470	1	2,834	(1)
22	人員	846	523	188	677	450		2,684	(1)
H	件数	840	530	180	626	490	1	2,667	
21	人員	782	511	175	611	475	1	2,555	
H	件数	916	584	193	642	444	2	2,781	
20	人員	865	553	185	622	422	2	2,649	
H	件数	897	549	174	632	446		2,698	
19	人員	847	526	168	600	412		2,553	

2-2図 過去10年間における救急出場件数及び搬送人員の推移



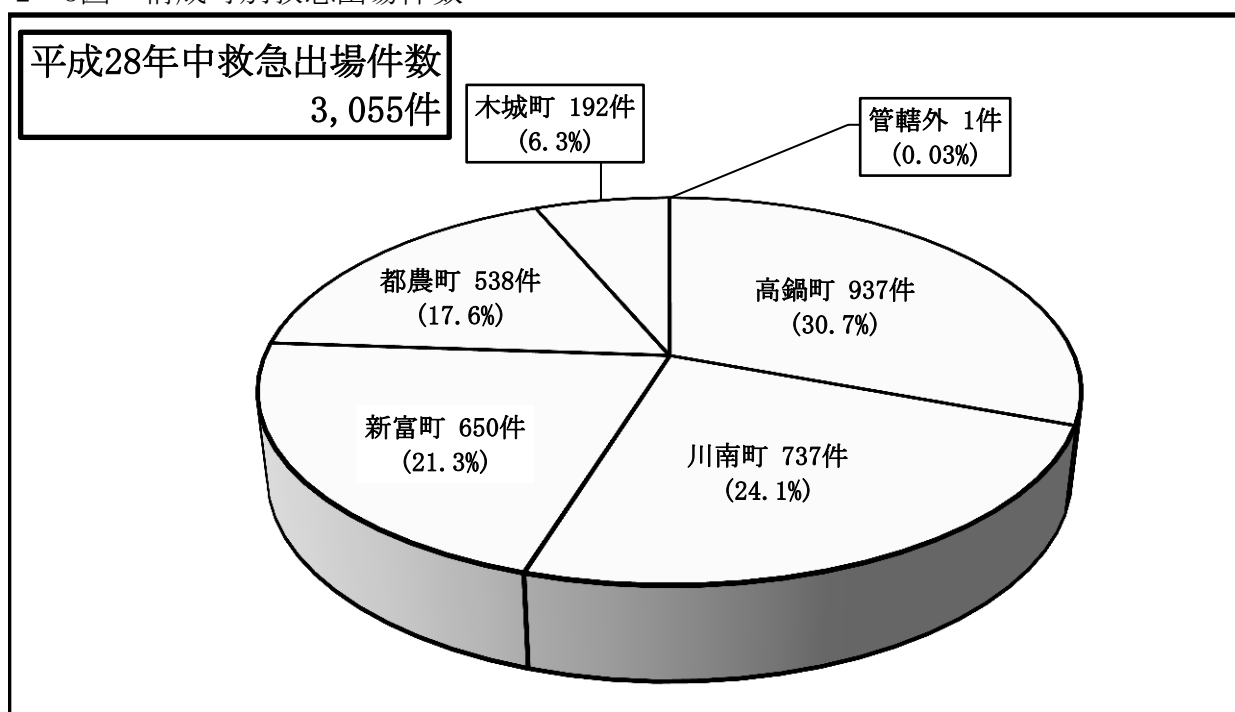
### (3) 構成町別の事故種別救急出場件数

構成町別の事故種別救急出場件数の内訳は、次の表のとおりとなっている。

2-3表 構成町別救急出場件数

事故種別	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	管轄外	計	うち高速道路上
急病	552	425	134	442	317		1,870	(4)
交通事故	56	67	9	39	45	1	217	(4)
一般負傷	146	81	36	111	78		452	
労働災害	7	6	2	8	7		30	
運動競技	17	8	3	10	5		43	
自損行為	10	5		7	4		26	
加害	3	1			2		6	
水難事故	1	1		2			4	
火災	2	2					4	
自然災害								
その他	転院搬送	139	52	7	114	79	391	
	医師搬送			1	2		3	
	機材搬送							
	その他	4	2		2	1	9	
	小計	143	54	8	118	80	403	
総計	937	650	192	737	538	1	3,055	(8)

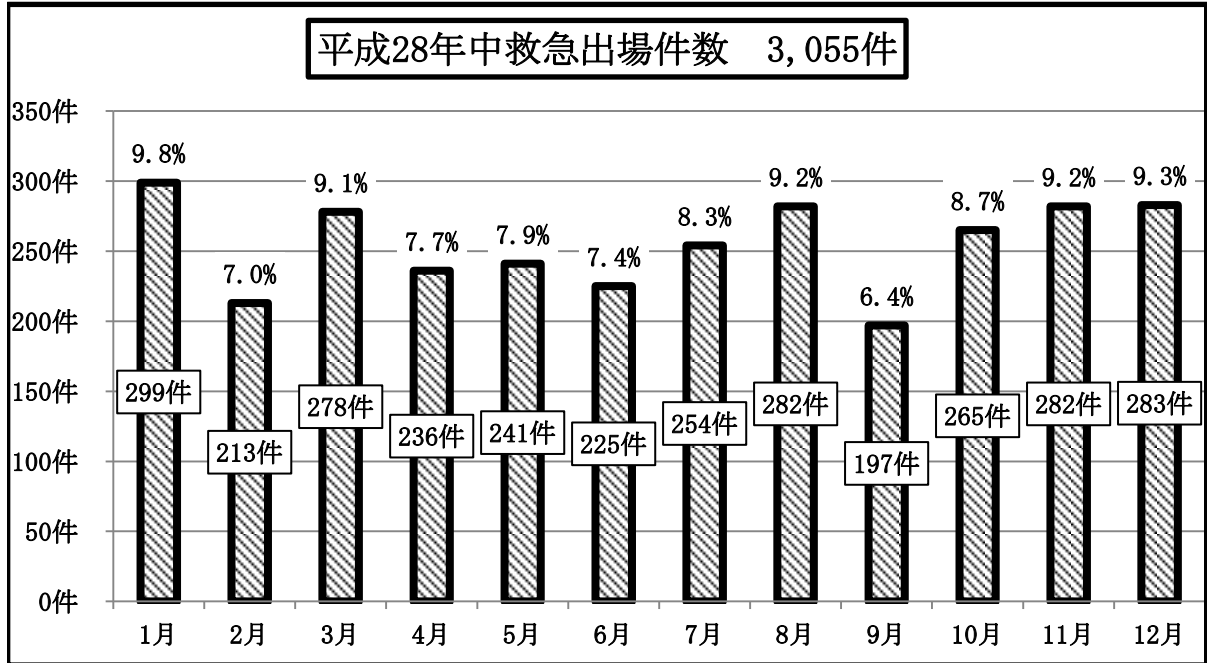
2-3図 構成町別救急出場件数



#### (4) 月別救急出場件数の状況

平成28年中の救急出場件数を月別にみると、1月が最も多く、次いで12月、8月と11月の順となっている。

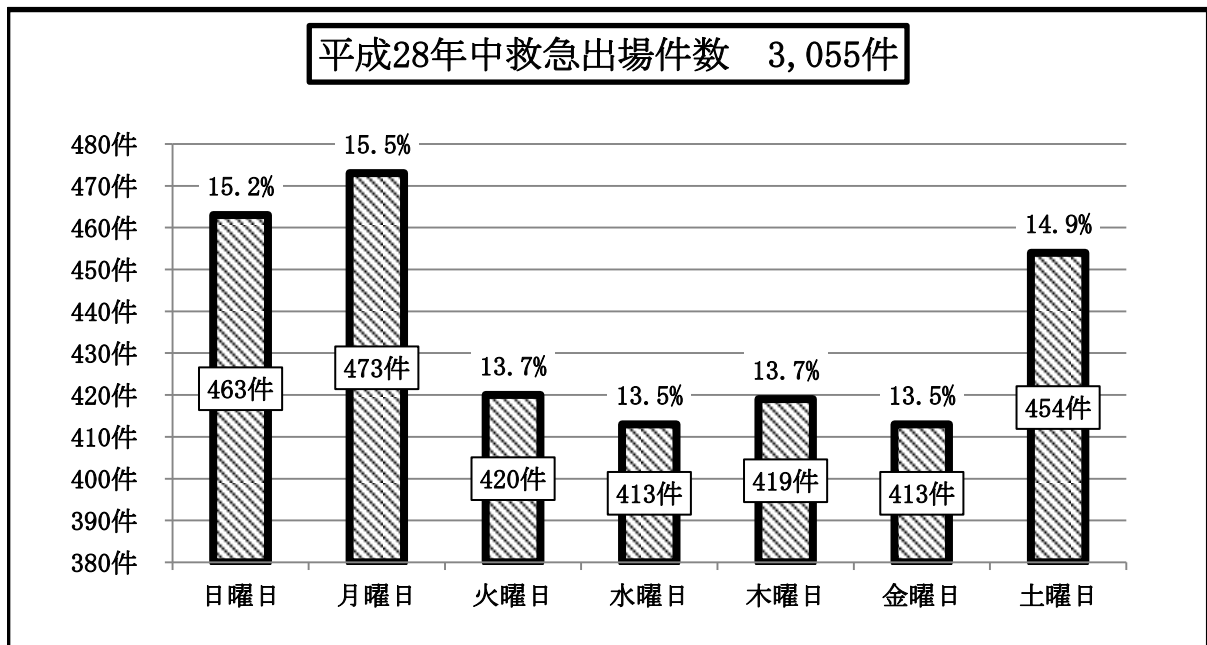
2-4図 月別救急出場件数



#### (5) 曜日別救急出場件数の状況

平成28年中の救急出場件数を曜日別にみると、月曜日が最も多く、水曜日と金曜日が最も少なかった。

2-5図 曜日別救急出場件数



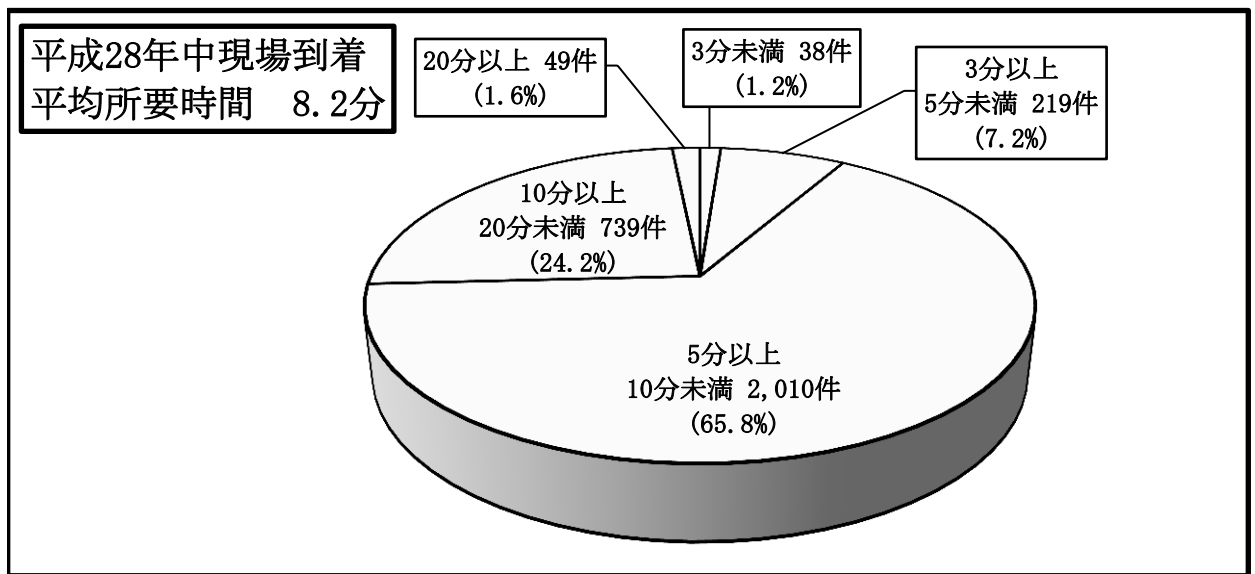
## (6) 現場到着所要時間の状況

平成28年中の救急現場到着所要時間は、5分以上10分未満が最も多く2,010件(65.8%)で、現場到着までの平均所要時間は8.2分(全国平均所要時間8.6分(※平成27年中))となっている。

2-4表 現場到着所要時間別救急件数

所要時間	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合計	最短時間	最長時間	平均時間
出場件数	38	219	2,010	739	49	3,055	0分	96分	8.2分

2-6図 現場到着所要時間別救急件数



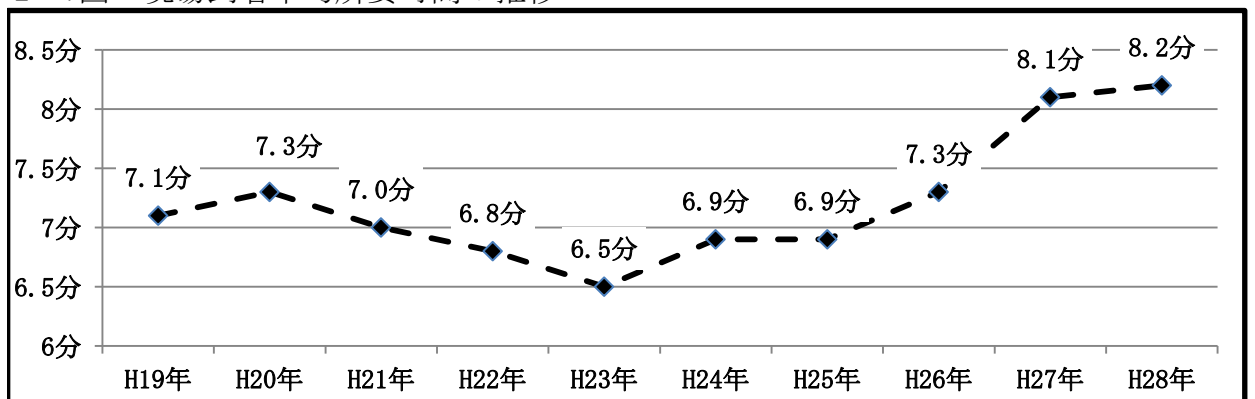
## (7) 現場到着所要時間の推移

過去10年間における現場到着平均所要時間は、次の表のとおりである。

2-5表 現場到着平均所要時間の推移

年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
現場到着所要時間	7.1分	7.3分	7.0分	6.8分	6.5分	6.9分	6.9分	7.3分	8.1分	8.2分

2-7図 現場到着平均所要時間の推移



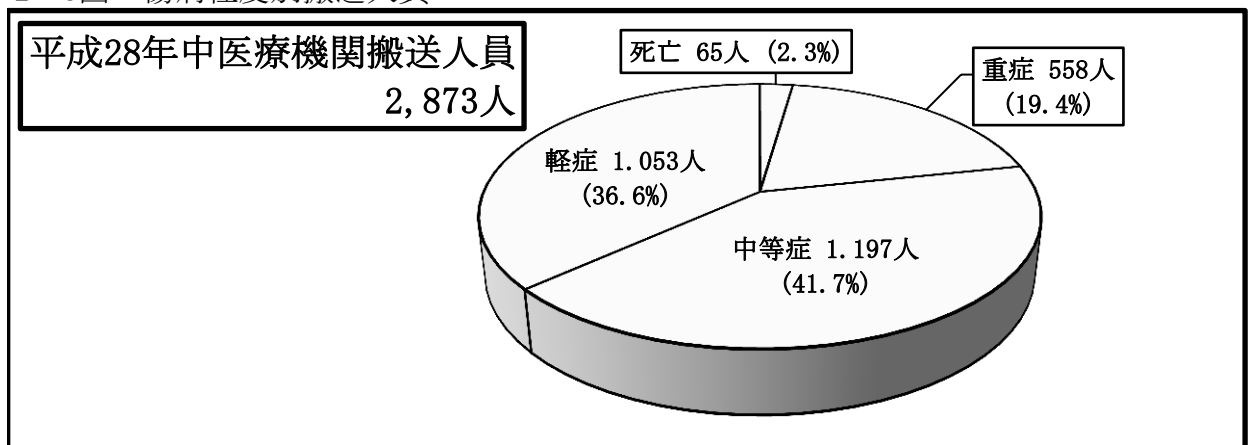
### (8) 傷病程度別搬送人員の状況

平成28年中の搬送者を傷病程度別にみると、中等症が最も多く、次いで軽症、重症の順となっている。

2-6表 傷病程度別搬送人員

	急病	交通	一般	その他	合計
死亡	50	1	4	10	65
重症	256	34	85	183	558
中等症	752	50	145	250	1,197
軽症	684	120	200	49	1,053
計	1,742	205	434	492	2,873

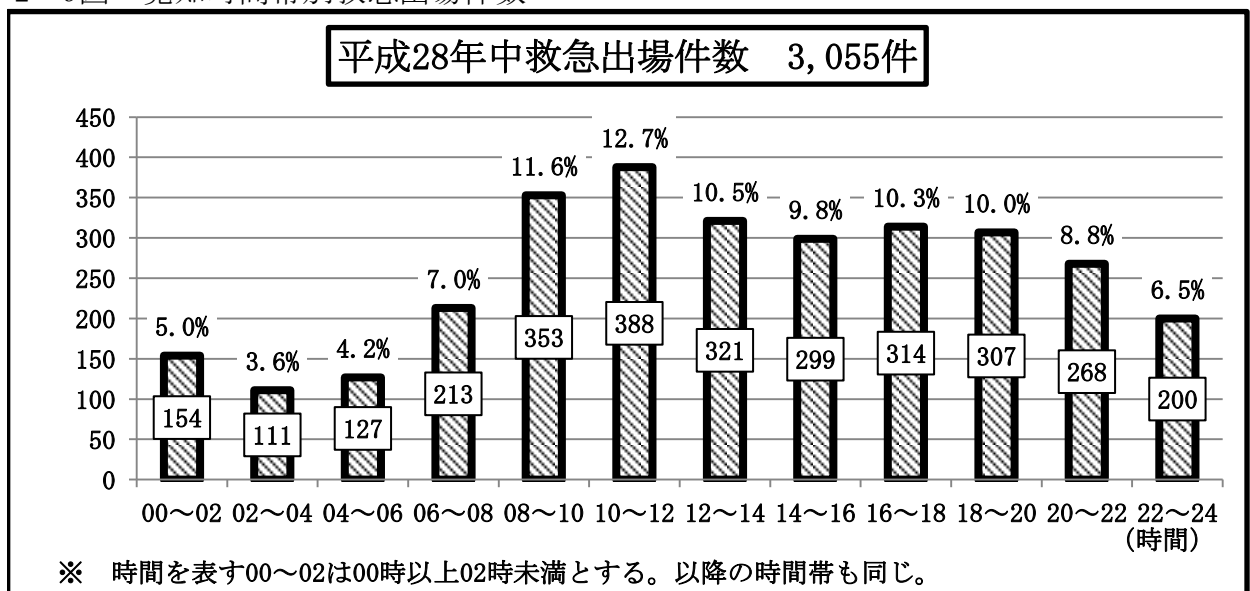
2-8図 傷病程度別搬送人員



### (9) 覚知時間帯別救急出場件数

平成28年中の覚知時間帯別救急出場件数をみると、10時～12時までが多く、全体の12.7%を占めている。

2-9図 覚知時間帯別救急出場件数



### (10) 医療機関別搬送人員の状況

平成28年中の医療機関別搬送人員をみると、救急告示医療機関が2,524人(87.8%)でその他の医療機関は349人(12.2%)となっている。

また、管外への搬送人員は1,407人(49.0%)となっている。

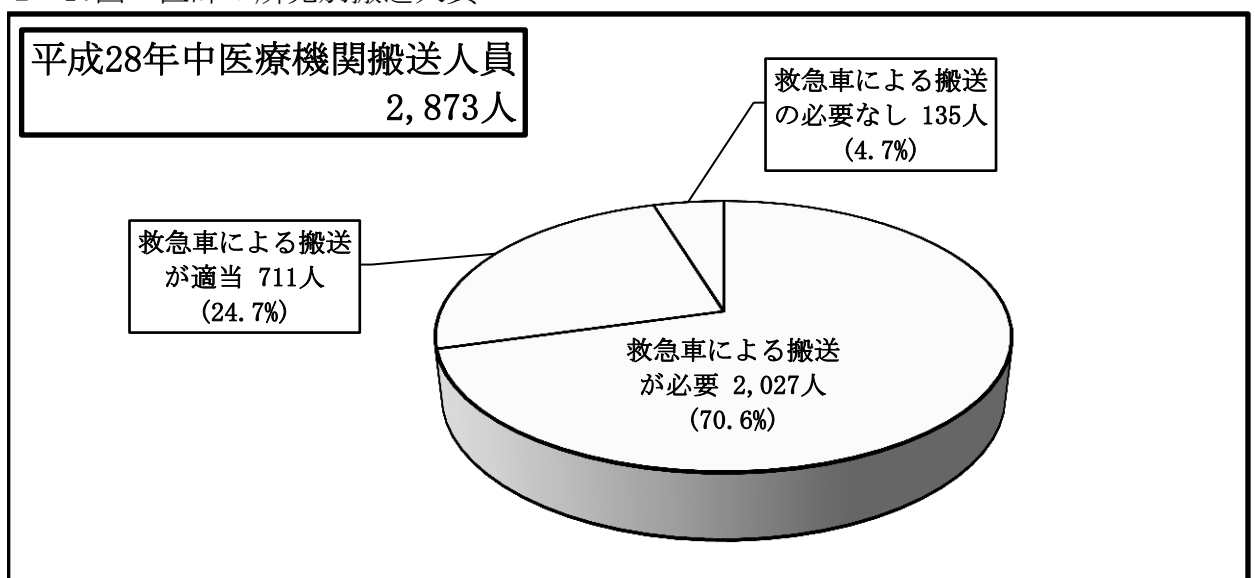
2-7表 医療機関別搬送人員

医療機関別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
				うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示 医療機関	国公立		327	145	66	31	133	33	128	86	654	295	
	公的		291	291	16	16	45	45	94	94	446	446	
	私的	病院		880	275	89	24	207	47	247	176	1,423	522
		診療所		1	1							1	1
	小計		1,499	712	171	71	385	125	469	356	2,524	1,264	
その他の 医療機関	国公立												
	公的												
	私的	病院		140	90	2	2	19	13	8	3	169	108
		診療所		103	10	32	12	30	4	15	9	180	35
	小計		243	100	34	14	49	17	23	12	349	143	
合計			1,742	812	205	85	434	142	492	368	2,873	1,407	

### (11) 医師の所見別搬送人員の状況

平成28年中の医師の所見別搬送人員をみると、「救急車による搬送の必要なし」は、135人(4.7%)で昨年(165人)より30人(18.2%)の減少となっている。

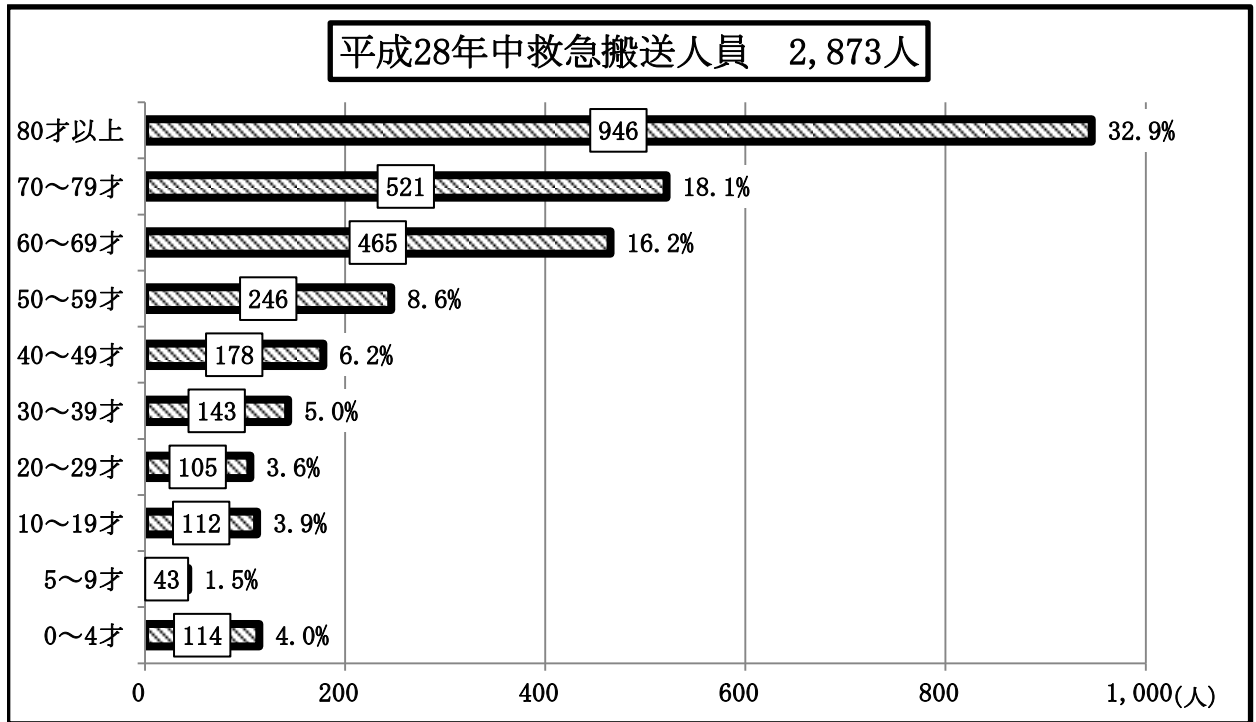
2-10図 医師の所見別搬送人員



## (12) 年齢別搬送人員の状況

平成28年中の年齢別搬送状況をみると、60歳からの急激な増加が見られ、全体の67.2%を占めている。

2-11図 年齢別搬送状況



## (13) 診療科目別搬送人員の状況

平成28年中の診療科目別搬送状況をみると、内科が全体の28.1%を占め、次いで外科の16.1%となっている。（その他の科を除く。）

2-12図 診療科目別搬送状況

